

平成18年1月11日
北海道電力株式会社

定期検査中の泊発電所1号機で確認された非常用排気筒のひび割れについて【続報】

泊発電所1号機(加圧水型軽水炉、定格電気出力57万9千キロワット)は、平成17年12月26日から第13回定期検査を実施していますが、非常用排気筒の点検を実施した結果、平成18年1月6日、補強材溶接部付近に貫通したひび割れを3箇所(最大で約14cm)確認しました。

なお、非常用排気筒は事故時に使用するための設備であり、通常時は使用していません。

また、当該部位は原子炉建屋内の放射線管理区域内であることから、ひび割れ部から空気が漏れたとしても、直接放射線管理区域外に放出されることはありません。

今後、ひび割れ部の切り出しを行い、詳細な調査を実施して原因究明を行います。

この事象による環境への放射能の影響はありません。

また、本件については、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき経済産業省に、「安全協定」に基づき北海道及び地元四カ町村に連絡済です。

(平成18年1月6日お知らせ済み)

その後、ひび割れ部の切り出しを実施し、外部の研究所にて、ひび割れ近傍の液体浸透探傷検査を実施した結果、本日、さらに1箇所(約3cm)のひび割れを確認しました。

今後、合計4箇所のひび割れ部について、引き続き詳細な調査を実施して原因究明を行います。

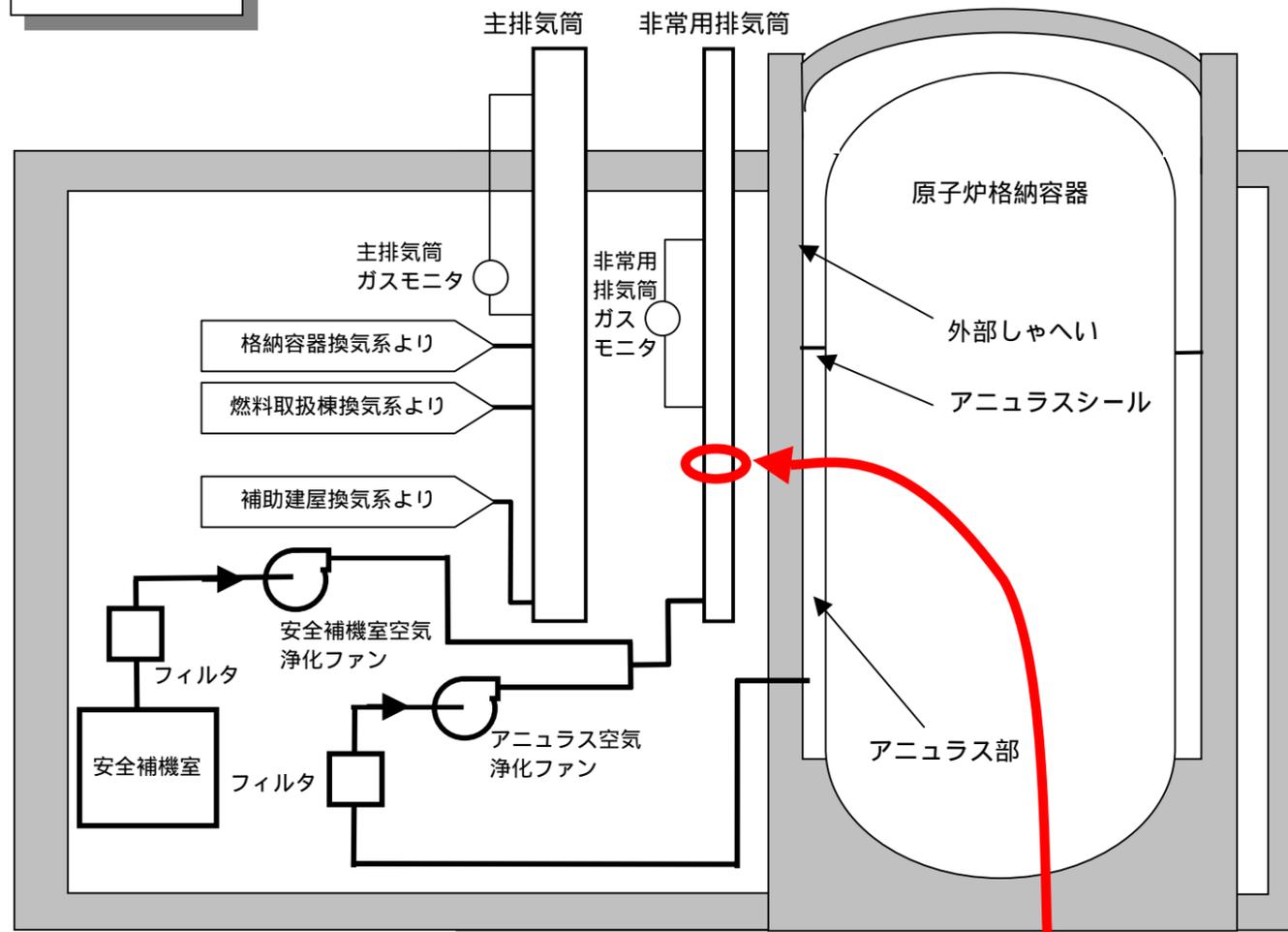
< 添付資料 >

- ・ 泊発電所1号機 非常用排気筒のひび割れについて(続報)

泊発電所 1号機 非常用排気筒のひび割れについて (続報)

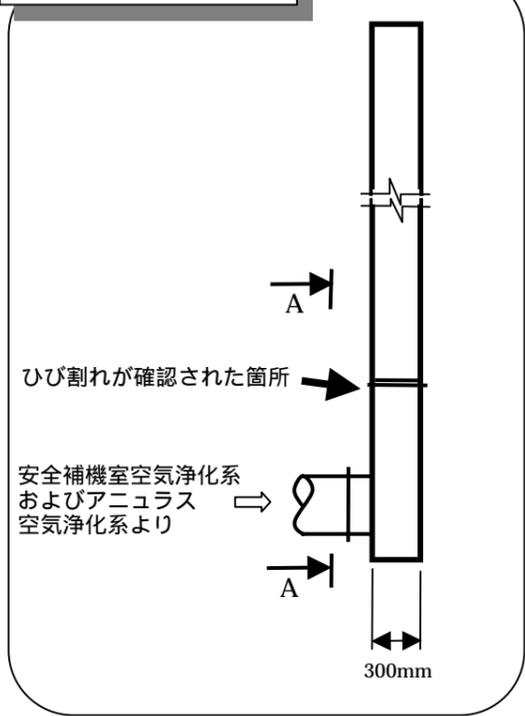
添付資料

概略系統図



ひび割れが確認された箇所

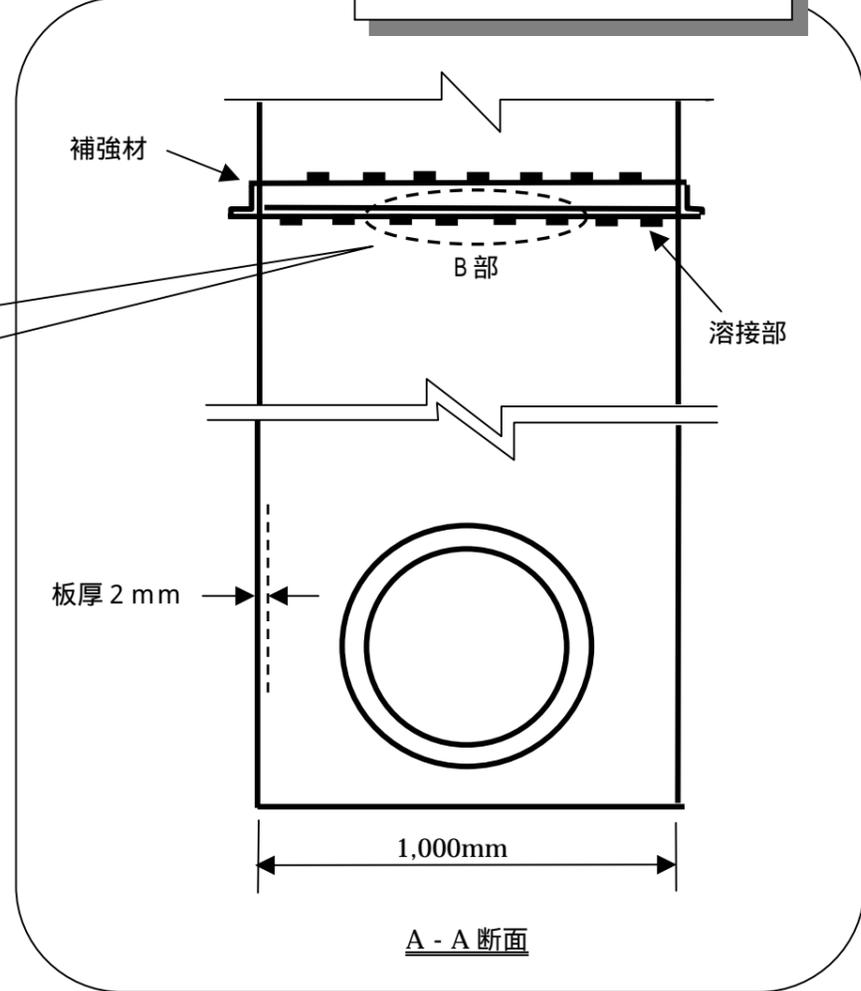
ひび割れ発生場所



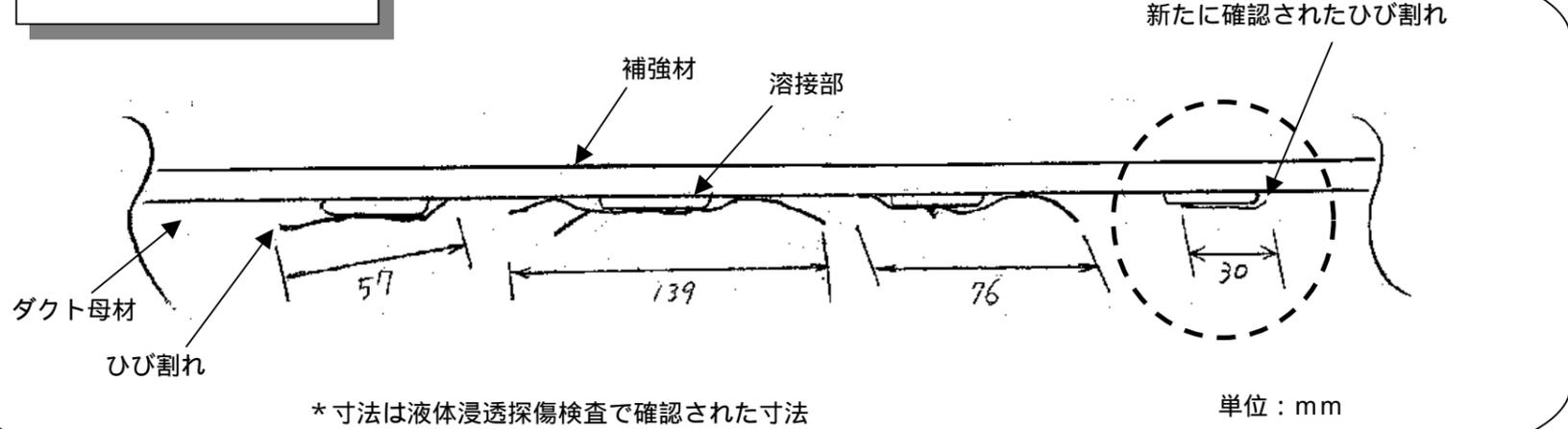
仕様

1号機非常用排気筒
 地上高さ 57.6m
 (標高高さ 67.6m)
 内径(頂部) 0.3×1.5m
 内径(脚部) 0.3×1.0m
 材料 ステンレス鋼
 厚さ 2.0mm

ひび割れ発生場所拡大図



B部詳細図



* 寸法は液体浸透探傷検査で確認された寸法

泊発電所 1号機 非常用排気筒 液体浸透探傷検査の状況

